

雨あがる

いぐねの庭



原作 = 山本周五郎
脚色 = 津上 忠
補綴・演出 = 市川 正
出演 = 浜名実貴、早瀬栄之丞
ほか

作 = 堀江安夫
演出 = 杉本孝司
出演 = 手塚政雄、樋川人美
星野子熊、若井なおみ (俳優座)
脇 秀平 ほか

2月	13日	18日
14日(土)		○
15日(日)	○	
16日(月)	休演日	
17日(火)	○	○
18日(水)	●	

● = 12:30開演
○ = 12:30開演
ご注意
例会日程は、変更になる場合があります。

SAWARAPIA

4月	13日	18日
9日(木)		○
10日(金)	○	
11日(土)		○
12日(日)	○	
13日(月)	●	

● = 12:30開演
○ = 12:30開演
ご注意
例会日程は、変更になる場合があります。

SAWARAPIA

仕官先を探するための旅の途中の浪人夫婦三沢伊兵衛と妻のため、長雨のため川止めとなり、安宿に投宿する旅人たちのため、争うことが苦手だが、悲しむ人を喜ばせるためにやっつけたい賭け試合をやり、仕官の道が遠く、しかし夫の尊い優しさに気づき、たよの心の雨が上がる。前進座らしい山本周五郎の世界が繰り広げられます。

東日本大震災で家が半壊の指定を受けるが、半年を経て始まるが、亡くなった妻への思慕が断ち切れず、姉の香苗は、息子大吾が津波に飲み込まれたがまだ語めきれずいる。計り知れない思い、心の痛み、怒りなどが描かれていく。時の流れと人との関わりを重ねていく中で、新たな想いを抱いていくことが出来る人間再生の物語です。

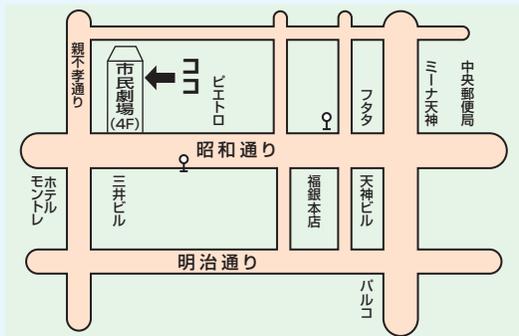
自分たちで会費を持ち寄り 自分たちで運営する市民劇場 入会のご案内

いま、わたしたちは情報化社会の進行と経済優先の効率主義のなかで、ますます不安が増大し、人間性の喪失にはげしくおびやかされています。しかし、そのような空虚な時代だからこそ、真の美しさ、優しさ、希望、愛情など、人間性の尊厳を高らかに謳う演劇がわたしたちにとってかけがえのないほど大切なものはいまでもありません。

「自分たちで会費を持ち寄り、自分たちで運営する市民劇場」は、1961年春に創立し、2021年に60周年を迎え、この間に例会にとりあげたお芝居は、内外の古典演劇から現代創作劇にいたるまで、じつに約470本にも及びます。福岡市民劇場は現在会員数約3,000名。毎月2,300円の会費を持ち寄り、年6回の例会(鑑賞会)を催しています。

入会要領

- ① 3名以上でサークルを作って入会
- ② 1年以上は会員として継続すること
- ③ 入会金 = 大人: 2,000円、中高生: 1,000円
会費 = 毎月 大人: 2,300円、中高生: 1,100円



福岡市民劇場

福岡市中央区天神3-4-10
天神西茂ビル4F

TEL 771-8671・FAX 771-9160

2025年 会員制演劇鑑賞会 福岡市民劇場

例会の
ごあんない



舞台上しか
味わえない感動

アンナ・カレーニナ (新版)

猫、獅子になる

ローズのジレンマ

めもと夫婦レコード

ミュージカル 洪水の前

華岡青洲の妻



作=トルストイ
演出=加来英治
出演=栗原小巻、赤羽秀之
こだま愛 ほか

作=横山拓也(iaku)
演出=眞鍋卓嗣
出演=岩崎加根子、塩山誠司
清水直子、安藤みどり
ほか

作=ニール・サイモン
訳=長木 彩
演出=田中麻衣子
出演=榎山文枝、篠田三郎
ほか

作=中島淳彦
演出=黒岩 亮
出演=佐藤祐四、安藤 暉
市橋 恵、尾島春香
本田清佳 ほか

脚本=矢代静一
演出=鶴山 仁
出演=ラサール石井、宮田佳奈
藤森裕美 ほか

作=有吉佐和子
演出=鶴山 仁
出演=小野洋子、采澤靖起
吉野実紗 ほか

2月	14	18
7日(金)	00	30
8日(土)	○	○
9日(日)	○	
10日(月)	休演日	
11日(火)		○
12日(水)	○	

○=12:30開演
●=12:30開演
ご注意
例会日程は、変更になる場合があります。

人間にとって、真の幸福とは、愛とは、神とは、トルストイは根源的な問いかけをし、真理を探究している。この作品の主題は、人間の運命。アンナを裁くのは、夫でもなく世間でもない、神だけが裁くことができる。作家はそう語っています。栗原小巻は、1974年から演じ、エイコーンとしては、2009年以降、全国各地で上演されている。

SAWARAPIA

4月	13	18
12日(土)	30	30
13日(日)	○	
14日(月)	○	
15日(火)		○
16日(水)	●	

○=12:30開演
●=12:30開演
ご注意
例会日程は、変更になる場合があります。

中学時代の演劇部の発表における諍いが原因で不登校となり、50歳になってなお実家の自室にひきこもる美夜子。世話をしてきた高齢の母が体調不良から美夜子の妹に助けを求め、深刻化する「8050問題」をテーマに、宮沢賢治の寓話「猫の事務所」とともに、家族と社会・現在と過去を紡ぎ描かれる。

SAWARAPIA

6月	13	18
12日(木)	30	30
13日(金)	○	
14日(土)		○
15日(日)	○	
16日(月)	休演日	
17日(火)	●	

○=12:30開演
●=12:30開演
ご注意
例会日程は、変更になる場合があります。

最愛のパートナー、ウォルシユを5年前に亡くし、作家であるローズはスランプに陥り本が書けない。秘書の奇立ちをよそに毎夜、幽霊として現れるウォルシユと愛を語らう。出演は篠田三郎、榎山文枝、桜井明美、神敏将、実力派4人が織りなす物語、思わず笑いと涙がこぼれる心あたたまるヒーリングドラマです。

SAWARAPIA

7月	13	18
23日(水)	30	30
24日(木)	○	
25日(金)		○
26日(土)	○	
27日(日)	●	

○=12:30開演
●=12:30開演
ご注意
例会日程は、変更になる場合があります。

妻民子の突然の死を受け入れることができずにとりみだしてしまふ康夫。そんな父に対して、5人の娘たちは、それぞれ事情を抱えながらも日常の中に悲しみを埋めていく。1枚のレコードが見つかりこれに刻まれた記憶から夫婦が共に暮らした歳月がよみがえってくる。切なくて可笑しくて、どこか懐かしい家族のドラマが展開します。

SAWARAPIA

10月	13	18
14日(火)	30	30
15日(水)	○	
16日(木)	○	
17日(金)		○
18日(土)	●	

○=12:30開演
●=12:30開演
ご注意
例会日程は、変更になる場合があります。

『キャバレー』といつミュージカルをいすみたく氏が満州事変前の大連のキャバレーに翻案し曲をつけた作品です。そのキャバレーには作家志望や、中国人で有りながら、日本人として生きる雑多な人が集まる所。しかし戦場へ出勤する関東軍の軍靴が響き渡る。平和はすでに終わっていたのです。待望のミュージカルです。

SAWARAPIA

12月	13	18
6日(土)	30	30
7日(日)	○	
8日(月)	○	
9日(火)	休演日	
10日(水)		○
11日(木)	●	

○=12:30開演
●=12:30開演
ご注意
例会日程は、変更になる場合があります。

青洲の麻酔薬を完成させるための人体実験をめぐる嫁と姑の争いが演じられる。この作品は杉村春子氏が演じられて文学座が大事にしてきた作品です。和物が得意とした文学座ですが、なかなか機会にめぐりあわず、今回やっと実現した作品です。若い世代に和物を継承したいという作品、配役も若い世代に引き継がれます。

SAWARAPIA